
女性医師の働き方・医師のワークライフバランスに関する アンケート調査報告書



大分大学医学部附属病院
女性医療人キャリア支援センター

2020年3月

「女性医師の働き方・医師のワークライフバランスに関するアンケート」結果

平素より女性医療人キャリア支援センターの活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

女性医療人キャリア支援センターでは、医療人のワークライフバランスのための環境整備と、復職・キャリアアップ支援をおこなっております。昨年度末に、働き方改革が求められている現代の医師のワークライフバランスの実態と、女性医師の復職に関わる現状と課題を把握し、支援につなげていくことを目的としてアンケートを実施いたしました。おかげ様で、多くの医師の方々から回答をいただくことができました。ご理解とご協力いただき大変ありがとうございました。

ここに結果をご報告させていただき、頂戴したご意見を参考に、さらに皆さまのニーズに対応する支援を検討しサポートできるようにしていきたいと考えております。今後とも変わらぬご支援とご理解をいただけますようお願いいたします。

大分大学医学部附属病院

女性医療人キャリア支援センター

センター長 藤木 稔

副センター長 松浦 恵子

目次

- P.1 … 調査の概要
P.2 … 回答者属性
P.3 … 問 1-1：年代
P.4 … 問 1-2：性別
P.5 … 問 1-3：専門とする診療科
P.6 … 問 1-4：医師免許取得後の年数
- P.7 … 問 2-1：現在の就業状況
P.8 … 問 2-2：常勤での勤務について
P.9 … 問 2-3：現在の勤務状況
P.10 … 問 2-4：常勤以外の勤務について
- P.11 … 問 3-1：女性医師の定数について
P.12 … 問 3-2：女性医師の離職理由について
P.13 … 問 3-3：男性医師の育児・介護について
P.14 … 問 3-4：ライフイベントと業務の兼ね合いについて
P.15 … 問 3-5：固定的性別役割分担意識について
P.16 … 問 3-6：将来の計画の見通しについて
P.17 … 問 3-7：モチベーションの維持について
P.18 … 問 3-8：各種会議への参画、発言する機会について
- P.19 … 問 4-1：仕事の裁量について
P.20 … 問 4-2：仕事時間について
P.21 … 問 4-3：部署での教育・研修について
P.22 … 問 4-4：勤務先での人事管理について
P.23 … 問 4-5：ワークライフバランスについて
P.24 … 問 4-6：有給休暇の取得について
P.25 … 問 4-7：能力の向上のための時間について
P.26 … 問 4-8：仕事での能力の向上について
P.27 … 問 4-9：総合的なワークライフバランスについて
- P.28 … ご意見
P.29-30 … 参考資料（アンケート調査表）



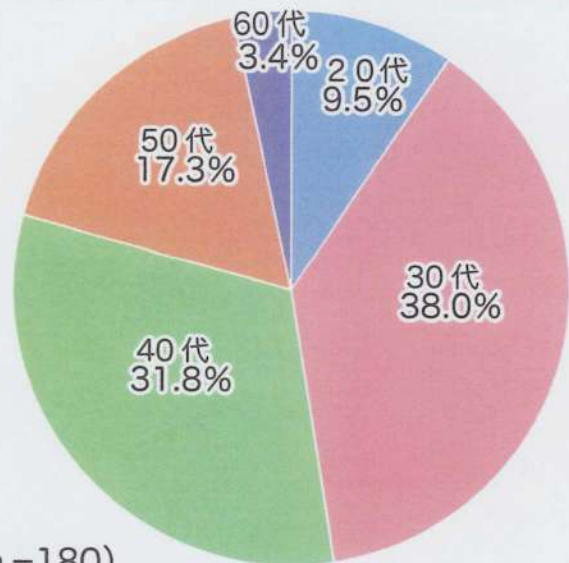
Work Life Balance

- 調査実施期間 : 2019年2月20日～3月7日
- 調査対象 : 大分大学挟間キャンパス医師
- 有効回答数 : 180件【配布数407件】
- 回答率 : 44.2%
- 調査票の配布・回収 : 学内便を利用した配布・回収(無記名方式)
- 調査内容 : 女性医師の働き方・医師のワークライフバランスに関する調査

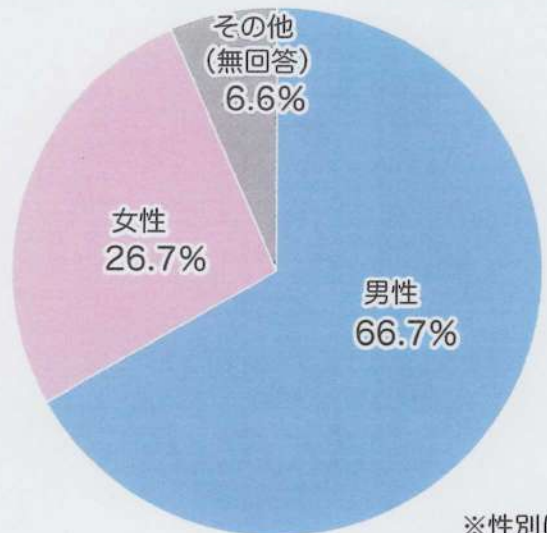


回答者属性

年代 (n=180)

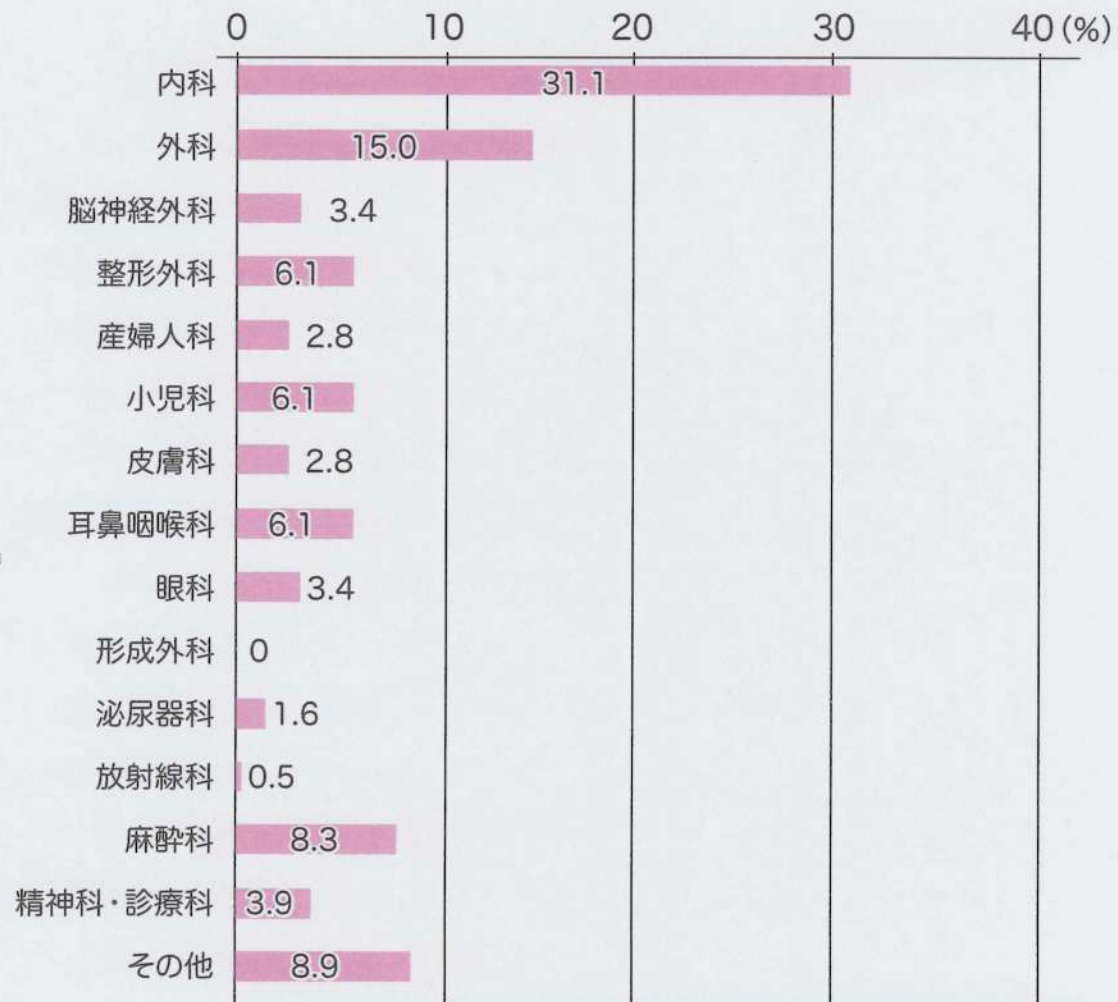


性別 (n=180)

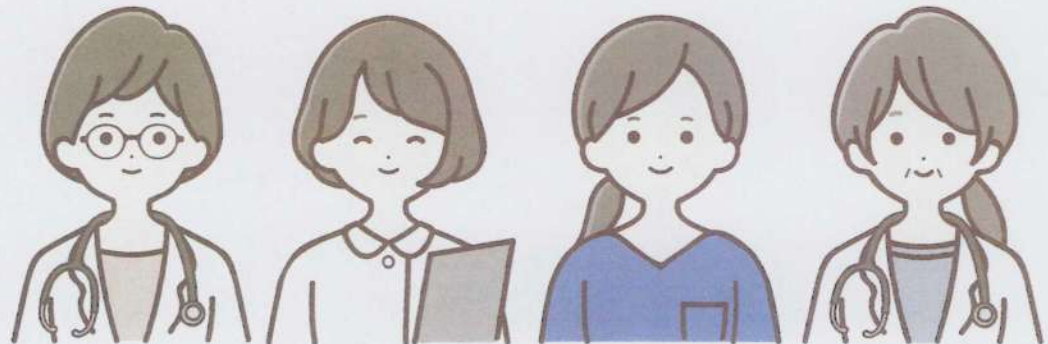
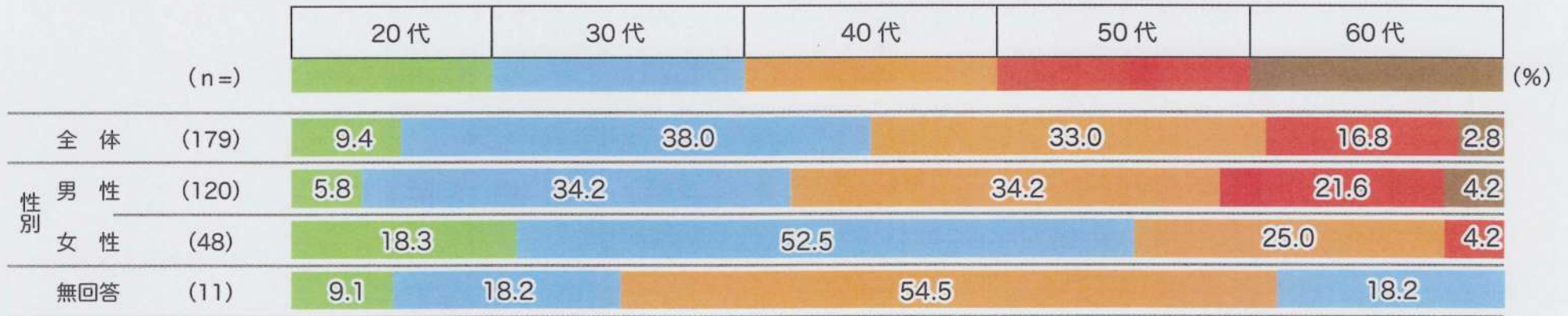


※性別は、180人中27人が無回答となった。

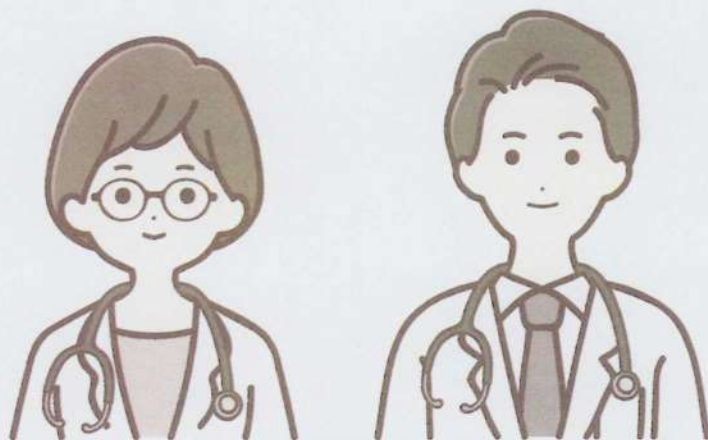
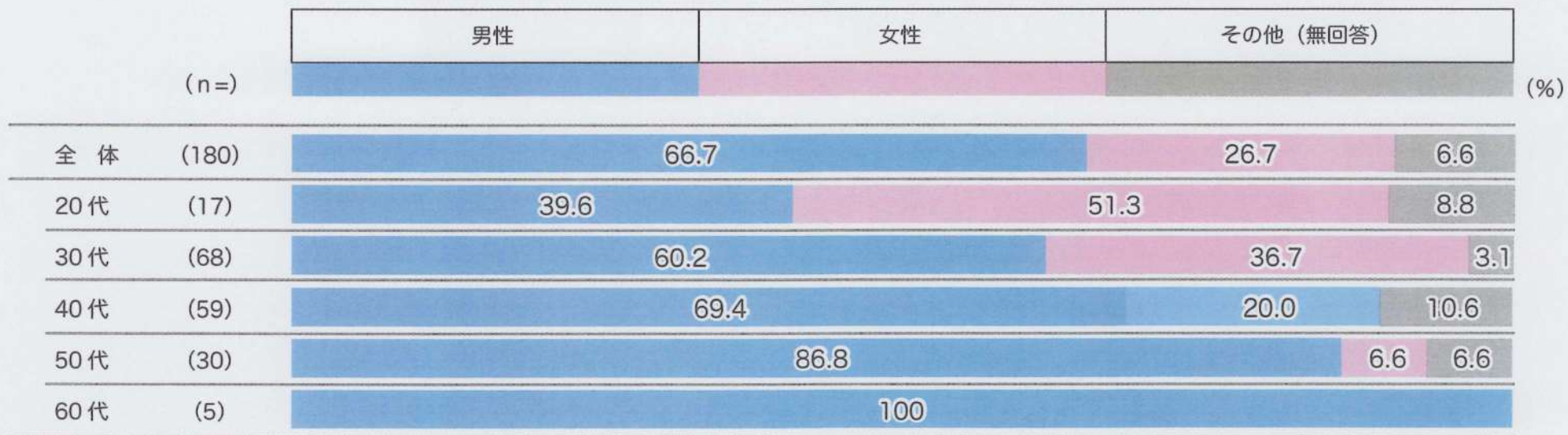
専門とする診療科 (n=180)



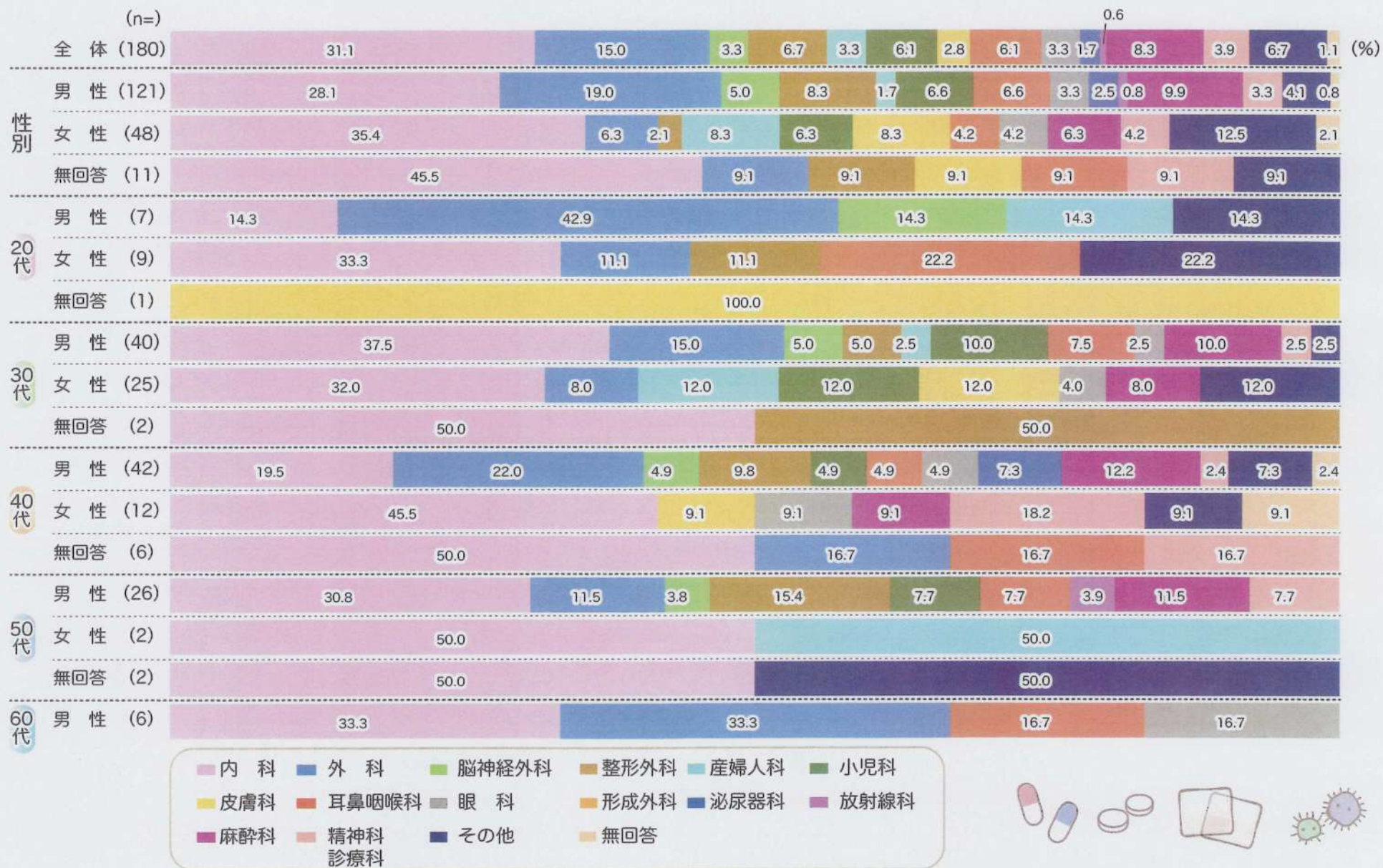
問 1-1：年代



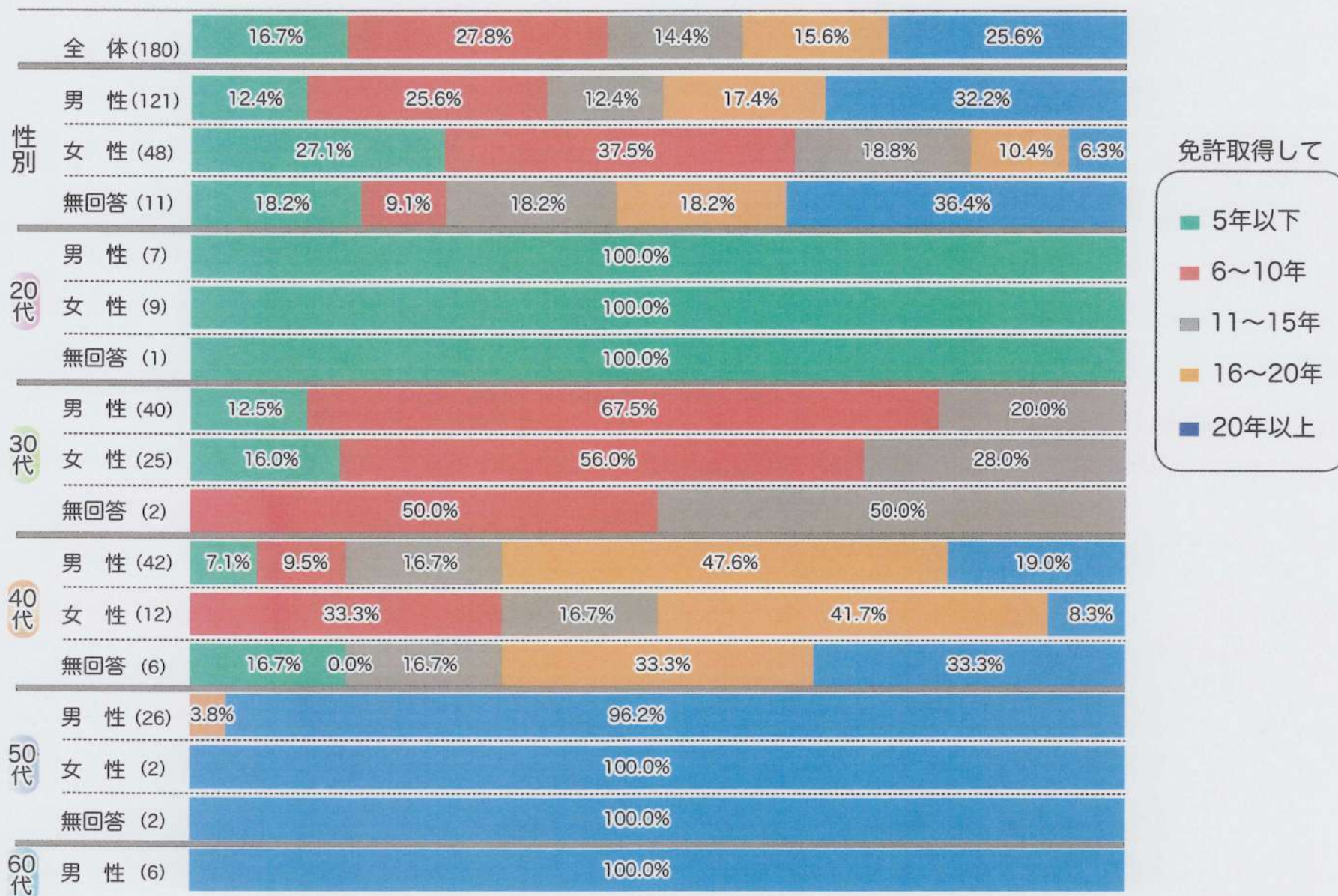
問 1-2 : 性別



問 1-3 : 専門とする診療科



問 1-4 : 医師免許取得後の年数



問 2-1：現在の就業状況

(現在お仕事をされていますか?)

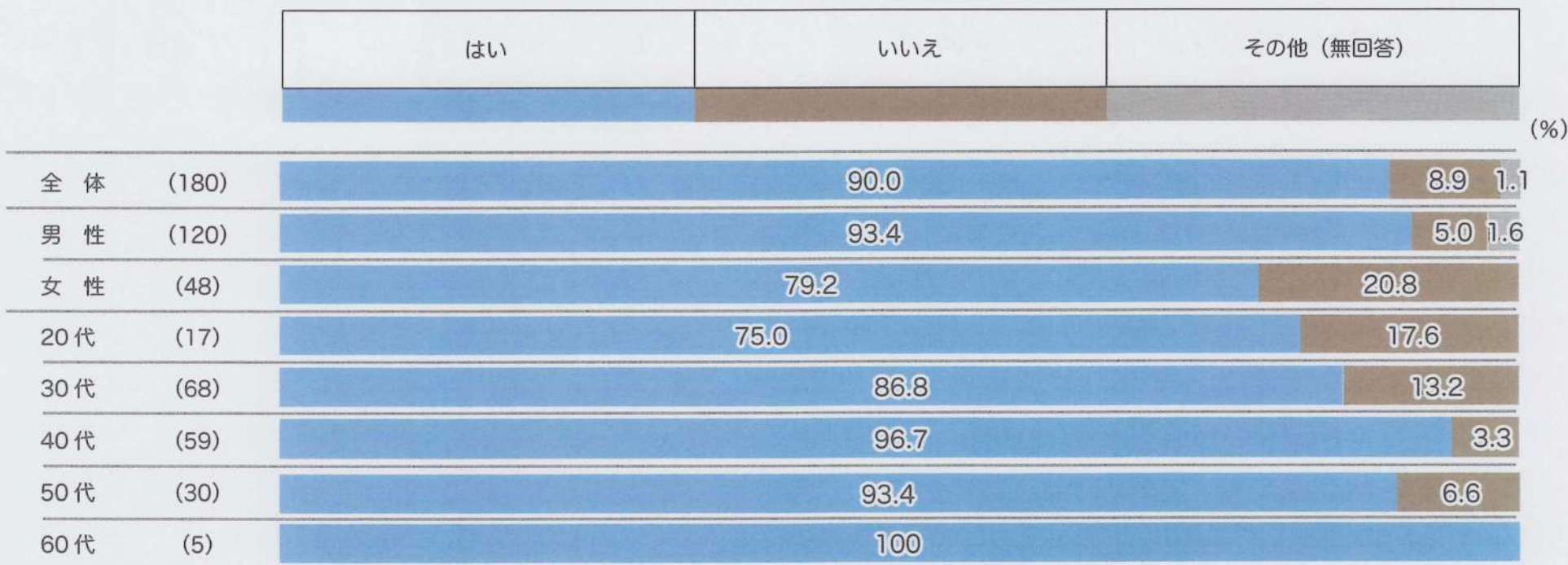
		はい	いいえ	(%)
(n=)				
全体	(180)	100		
性別	男性	100		
	女性	100		
	無回答	100		
年代	20代	100		
	30代	100		
	40代	100		
	50代	100		
	60代	100		

※性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 2-2：常勤での勤務について
(常勤で働かれていますか?)

問 2-2 で「はい」と回答した方

- 全体では「はい」が90.0%となり、「いいえ」の回答は10%未満となった。
- 性別で「はい」の回答を見ると、『男性』が93.4%で『女性』の79.2%を上回った。
- 年代別で「はい」を見ると、「60代」が100.0%となり最も高く、次いで「40代」が96.7%、「50代」が93.4%となった。



問 2-3：現在の勤務状況

(現在の状況はどれに該当しますか?)

問 2-2 で「いいえ」と回答した方

●全体では、「短時間勤務」・「無回答」がそれぞれ 50.0%で「育児休暇中」はゼロとなった。

●『男性』が『女性』よりも短時間勤務が少なく、『女性』は 60.0%が「短時間勤務」となっている。 ※サンプル数が少ないため、参考値。



●その他内容

現在の勤務状況	年代	性別
フルタイム	30代	男性
社会人 大学院生	30代	男性
他学部	40代	男性
医員 全日出勤 当直あり	50代	男性
日中のみ	30代	女性
医員なのでフルタイムで働いています	40代	女性
週4 非常勤	20代	女性

問 2-4：常勤以外の勤務について

(そのような状況になっている理由はどれに該当しますか?)

問 2-2 で「いいえ」と回答した方

●全体では、「無回答」が 50.0%で最も高く、次いで「育児をせざるを得ない状況だから」が 31.3%、「育児に専念したいから」が 12.5%となった。

●『男性』が『女性』よりも短時間勤務が少なく、『女性』は 60.0%が「短時間勤務」となっている。 ※サンプル数が少ないため、参考値。



●その他内容

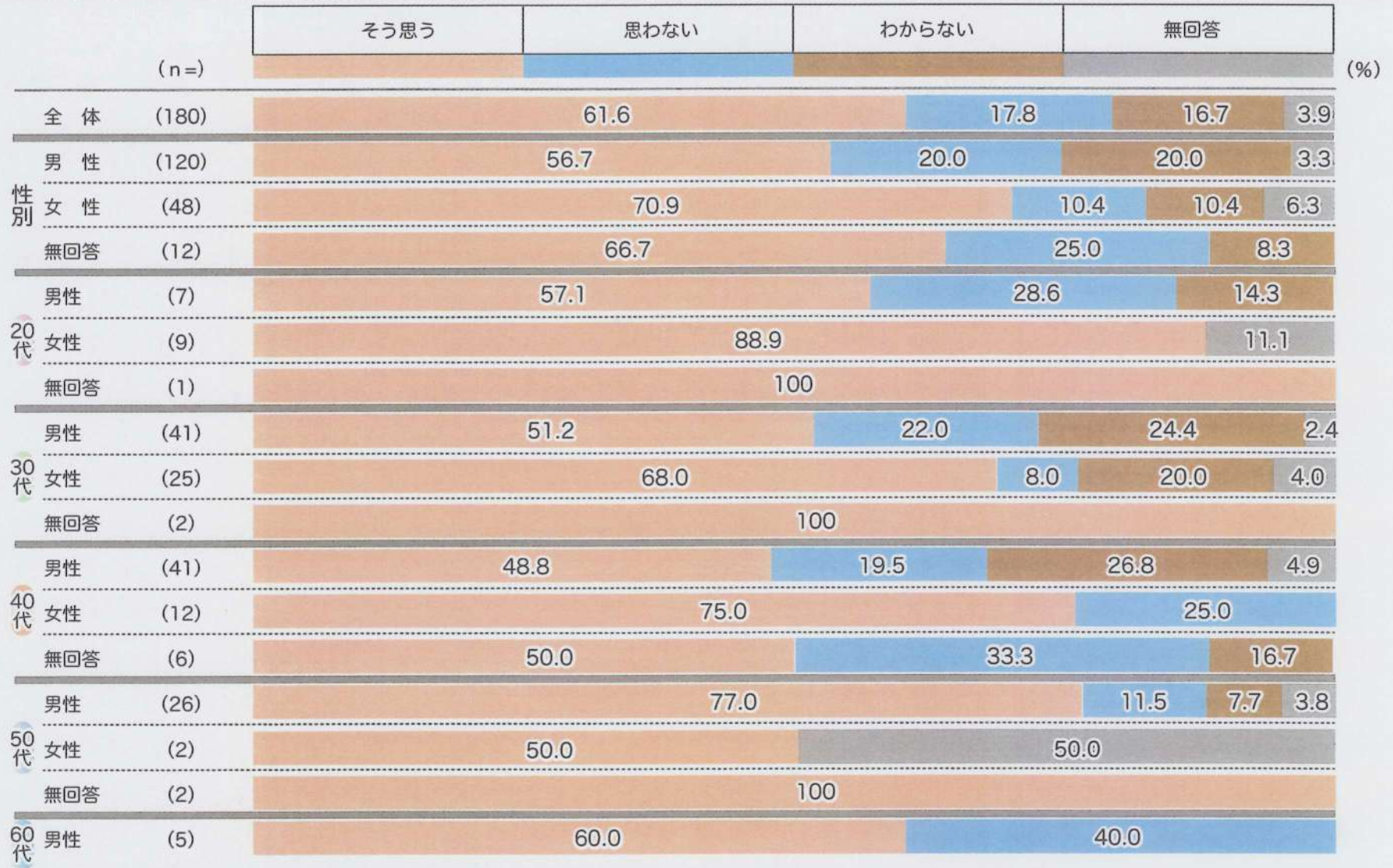
そのような状況になっている理由	年代	性別
フルタイム	30代	男性
大学院に入っているから	30代	男性
大学が常勤で採用していないから？委員とは？	40代	男性
病院スタッフ数の制限	50代	男性
研究のため	30代	男性
仕事がおわらないから	40代	男性
他学部	50代	男性
時間的、精神的余裕が大事だと思うから	30代	女性

問 3-1：女性医師の定数について

(女性医師の数を減らすという方策については間違っていると思う)

●全体では、「そう思う」が61.6%で最も高く、次いで「思わない」が17.8%、次いで「わからない」が16.7%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が56.7%に対し『女性』は70.9%となり上回った。 ●年代では、「20代」が最多で「50代」がそれに続き多い結果となった。



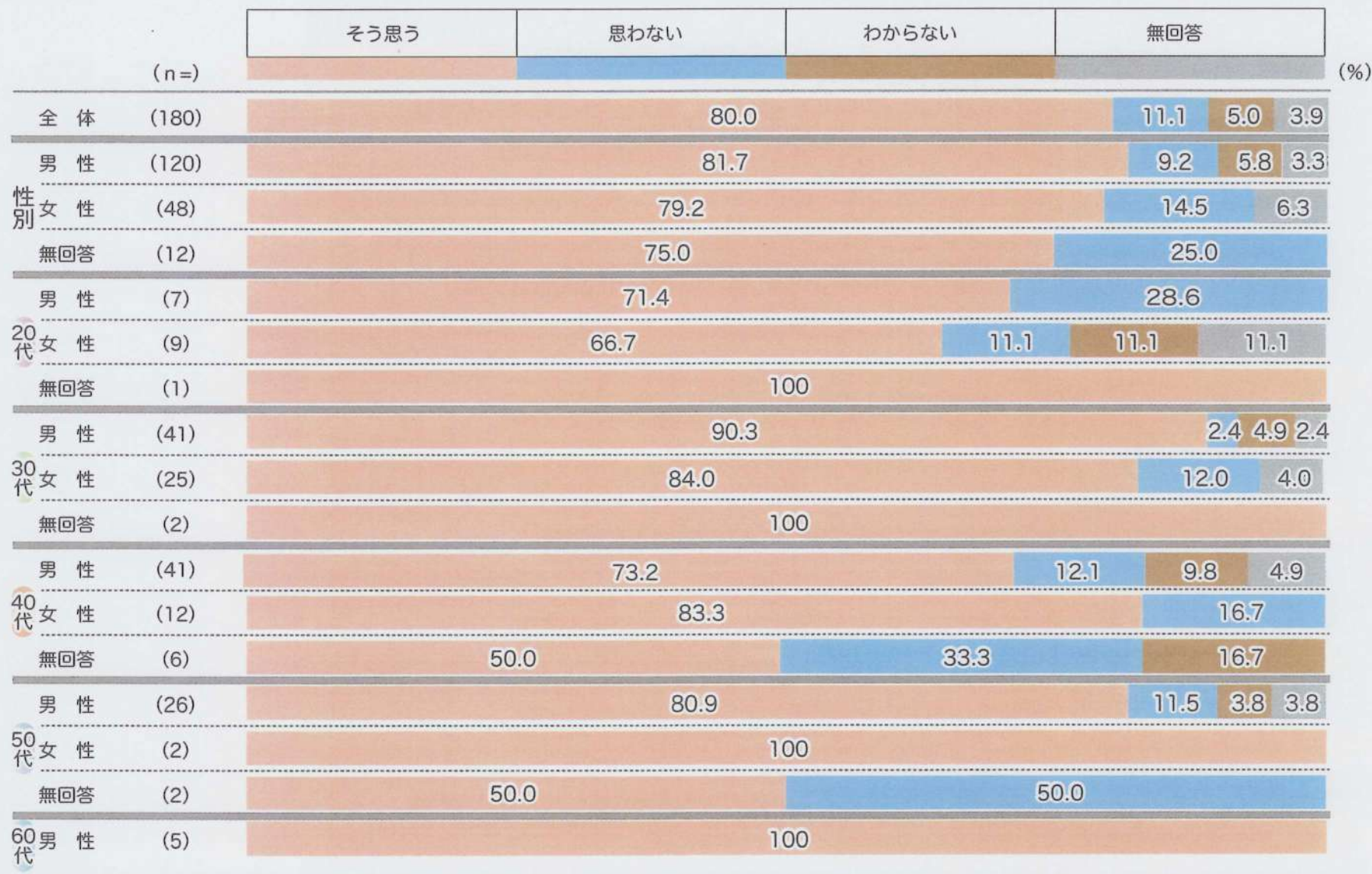
※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体のみ反映し、年代別分類からは除外しています。

問 3-2：女性医師の離職理由について

(女性医師は育児・介護で離職する傾向にあると思う)

●全体では、「そう思う」が80.0%と最も高く、次いで「思わない」が11.8%、次いで「わからない」が5.0%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が81.7%、『女性』は79.2%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「50代」がそれに続き多い結果となった。

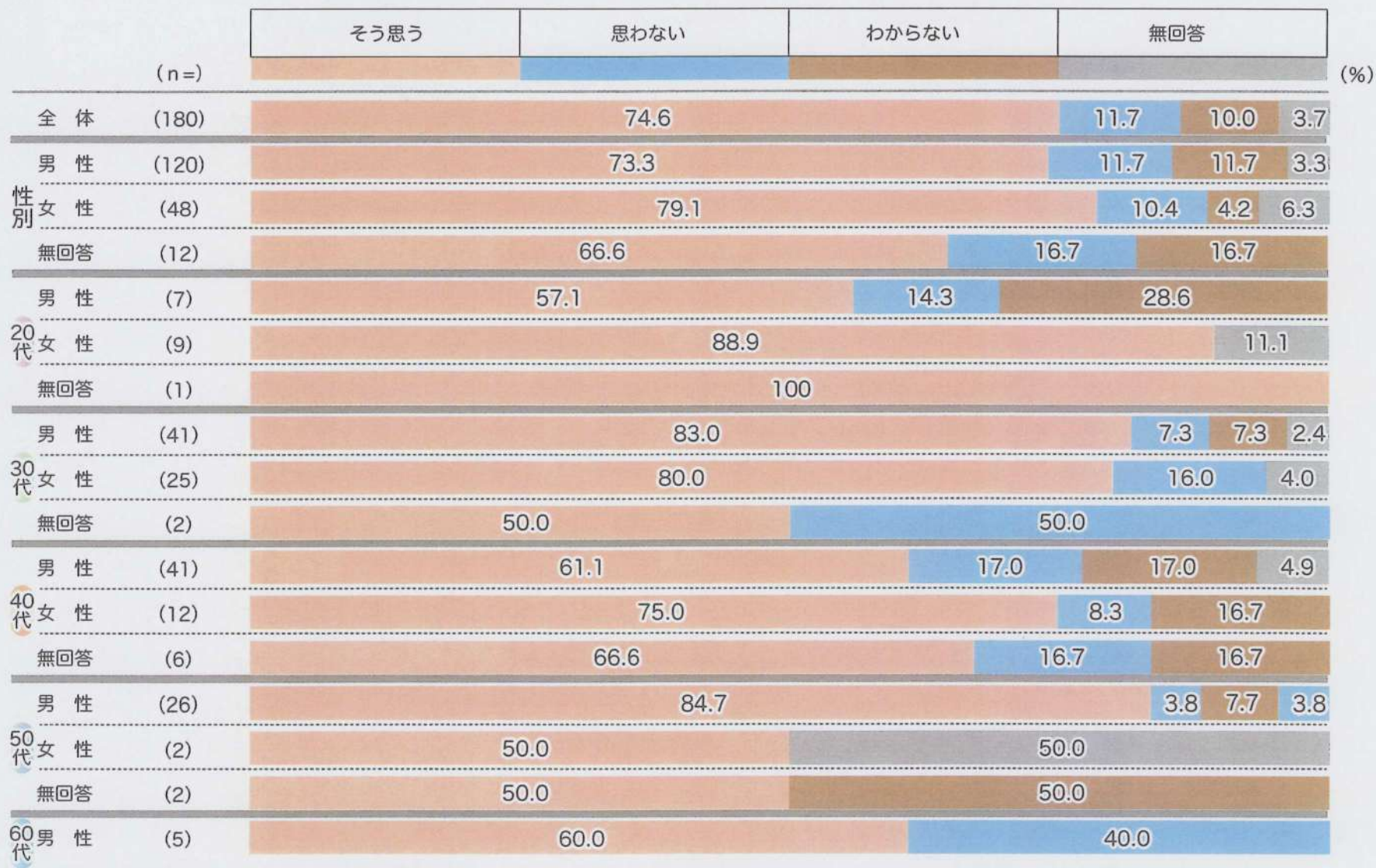


問 3-3：男性医師の育児・介護について

(男性医師も育児・介護を積極的にするべきだと思う)

●全体では、「そう思う」が74.6%と最も高く、次いで「思わない」が11.7%、次いで「わからない」が10.0%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が73.3%に対し『女性』は79.1%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「20代」がそれに続き多い結果となった。

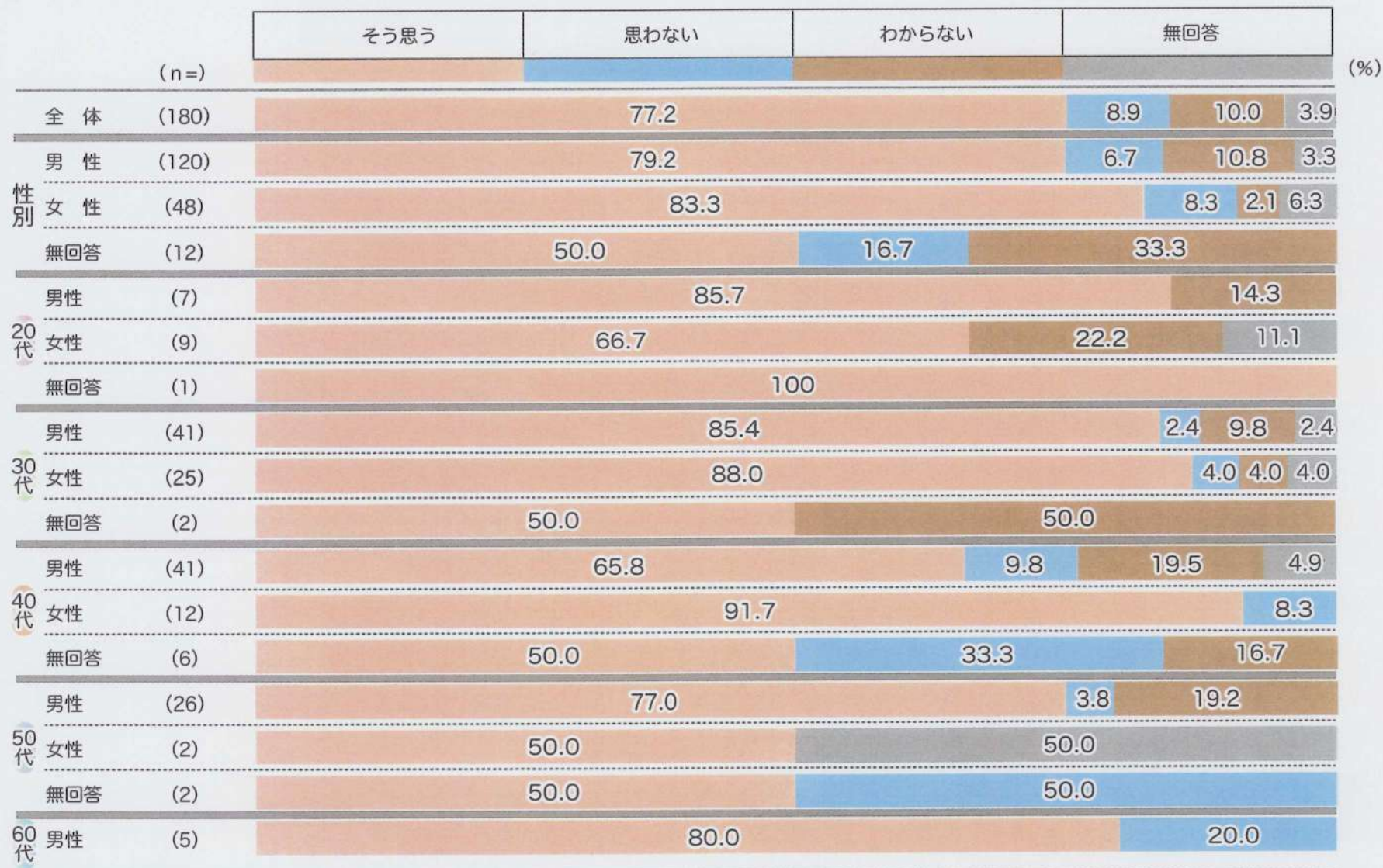


※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 3-4：ライフイベントと業務の兼ね合いについて (ライフイベントと並行した医業の継続が強られる)

●全体では、「そう思う」が77.2%と最も高く、次いで「わからない」が10.0%、「思わない」が8.9%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が79.2%に対し『女性』は83.3%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。

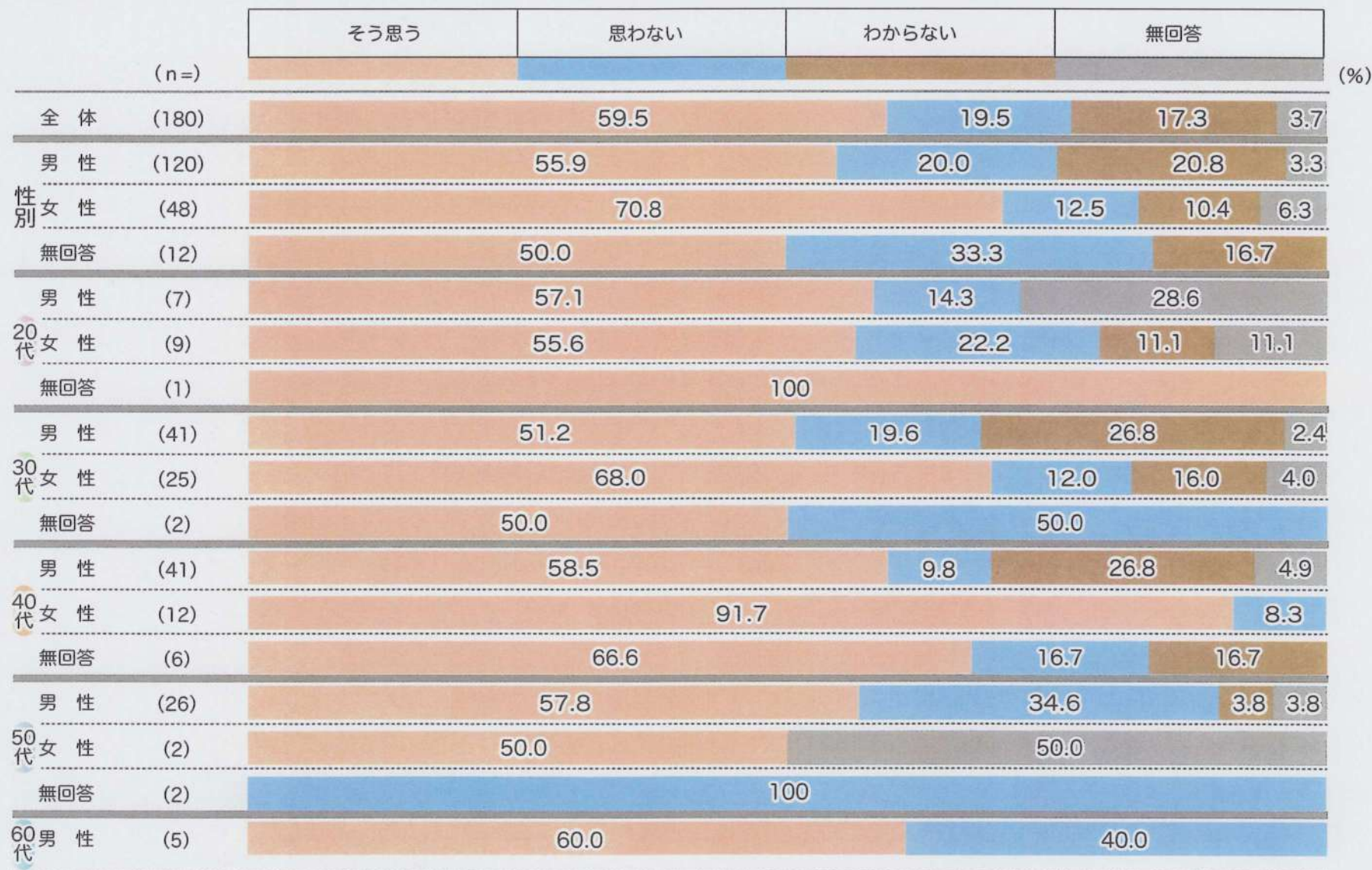


問 3-5：固定的性別役割分担意識について

(固定的性別役割分担意識を女性医師自らが強く持たざるを得ない状況である)

●全体では、「そう思う」が59.5%と最も高く、次いで「思わない」が19.5%、次いで「わからない」が17.3%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が55.9%、『女性』は70.8%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「50代」がそれに続き多い結果となった。

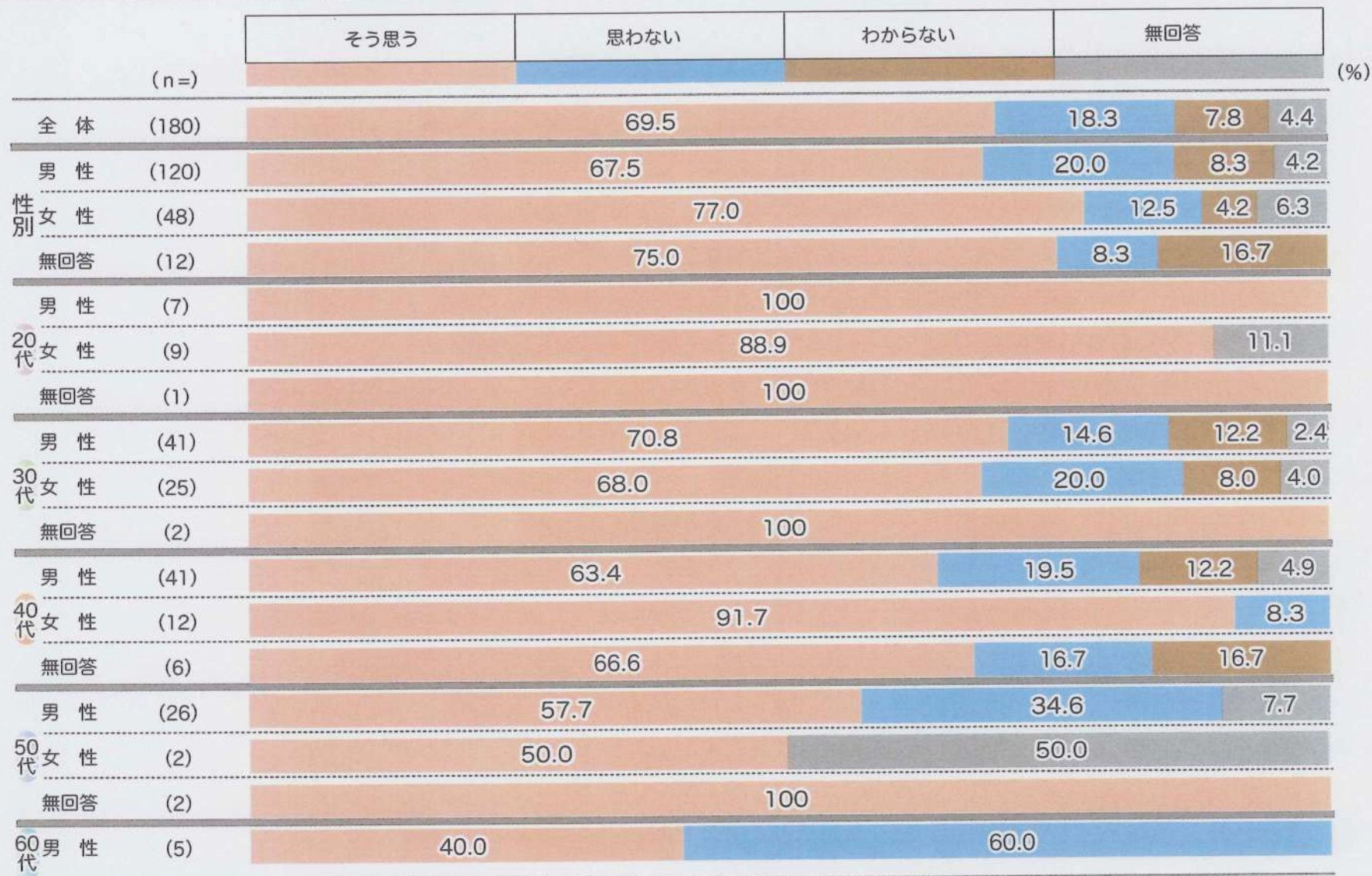


※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 3-6：将来の計画の見通しについて (将来の姿を計画的に見通すことは難しい)

●全体では、「そう思う」が69.5%と最も高く、次いで「思わない」が18.3%、次いで「わからない」が7.8%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が67.5%、『女性』は77.0%となった。 ●年代では、「20代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。

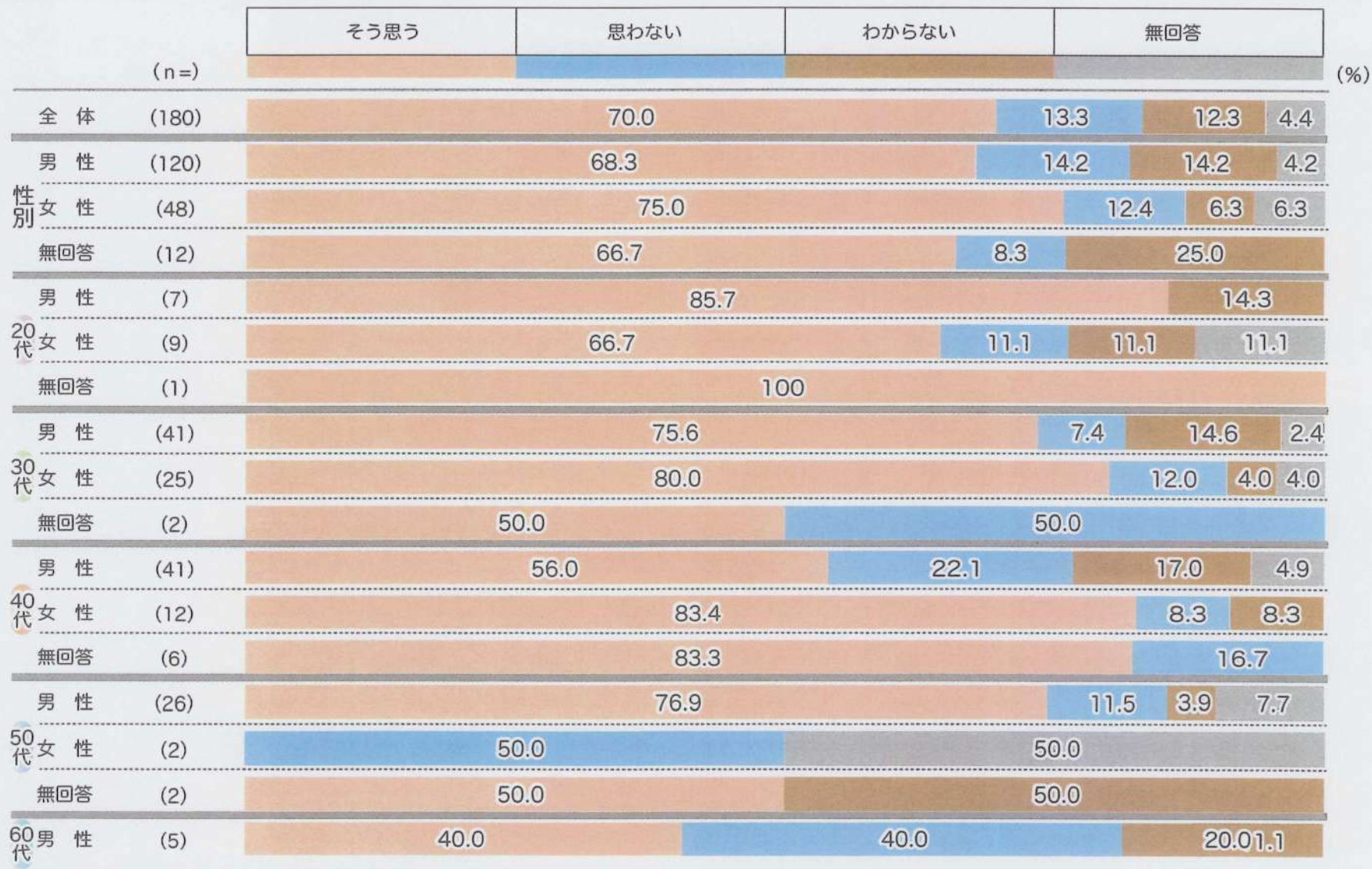


問 3-7：モチベーションの維持について

(モチベーションの維持は時として難しく離職・非常勤職となりやすい)

●全体では、「そう思う」が70.0%と最も高く、次いで「思わない」が13.3%、次いで「わからない」が12.3%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が68.3%、『女性』は75.0%となった。 ●年代では、「20代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。



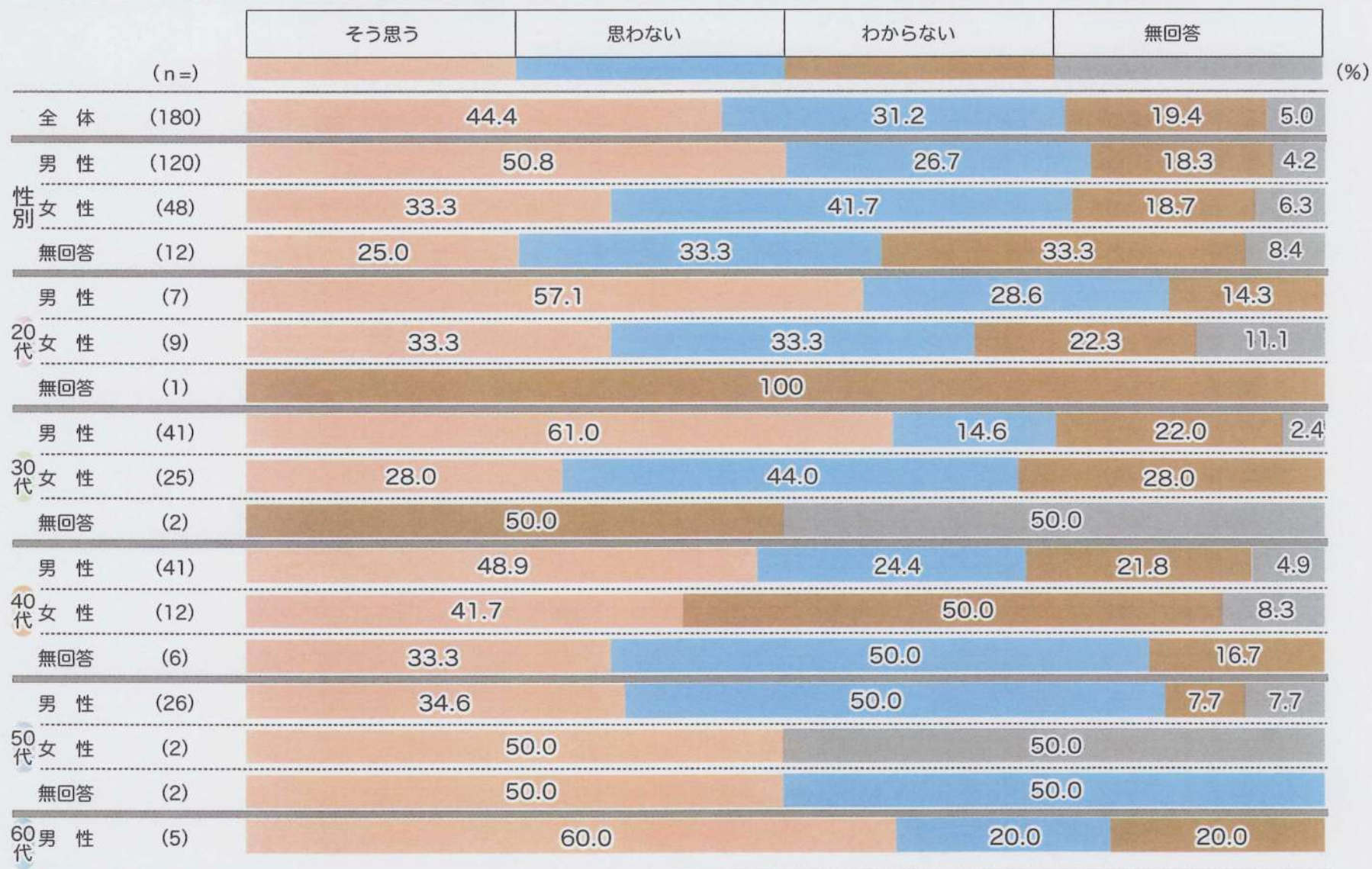
※年代別の性別では、60代女性、60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 3-8：各種会議への参画、発言する機会について

(診療以外の院内外の各種会議への参画が少なく発言する機会が少ない)

●全体では、「そう思う」が44.4%と最も高く、次いで「思わない」が31.2%、次いで「わからない」が19.4%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が50.8%、「思わない」が『女性』では41.7%となった。 ●年代では、「20代」が最多で「30代」がそれに続き多い結果となった。

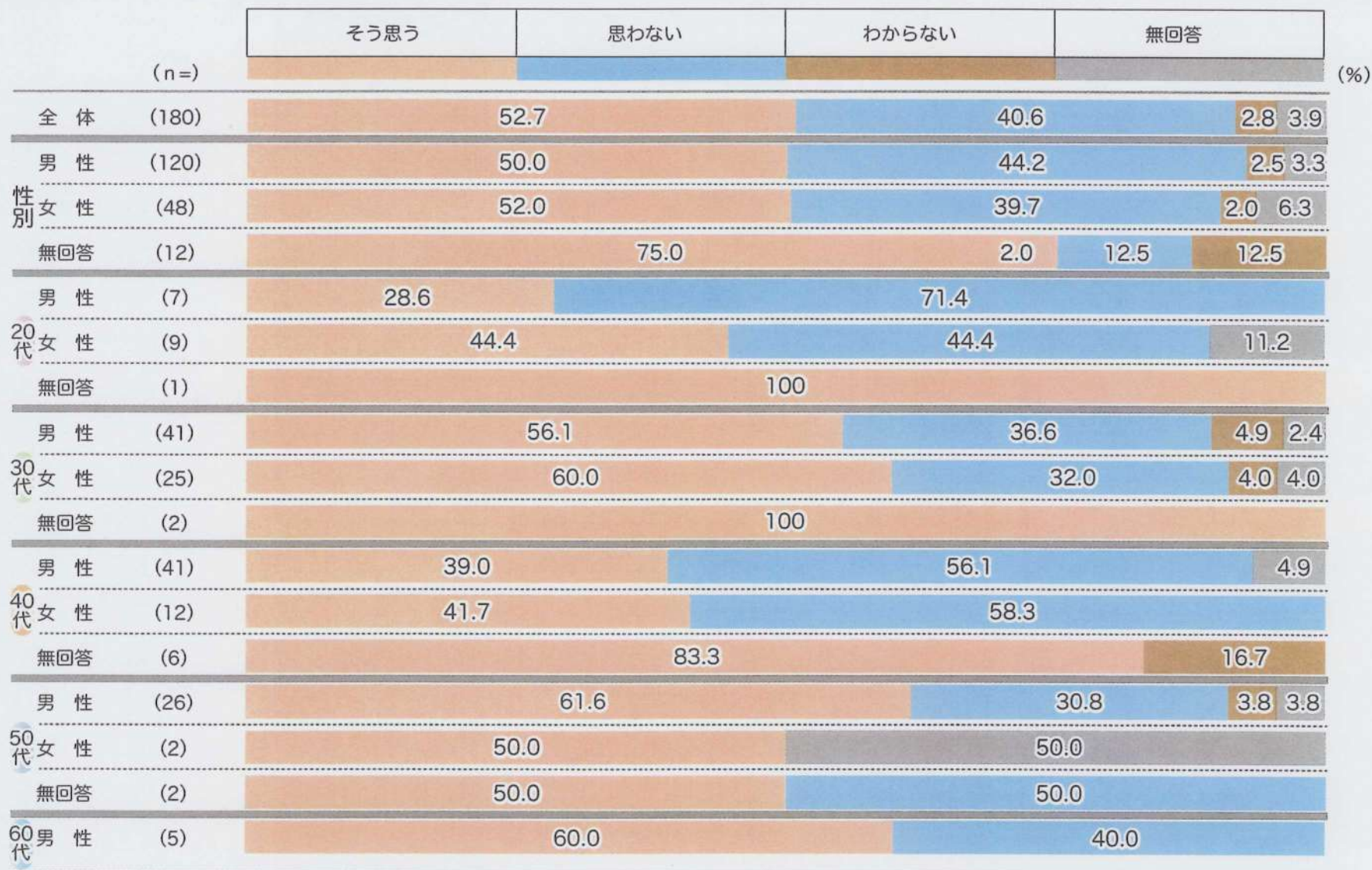


問 4-1：仕事の裁量について

(仕事の手順・量はある程度自分で決めることができる)

●全体では、「そう思う」が52.7%と最も高く、次いで「思わない」が40.6%となった。また、「20代」では「思わない」が「そう思う」より多い結果となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が50.0%、『女性』は52.0%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「50代」がそれに続き多い結果となった。



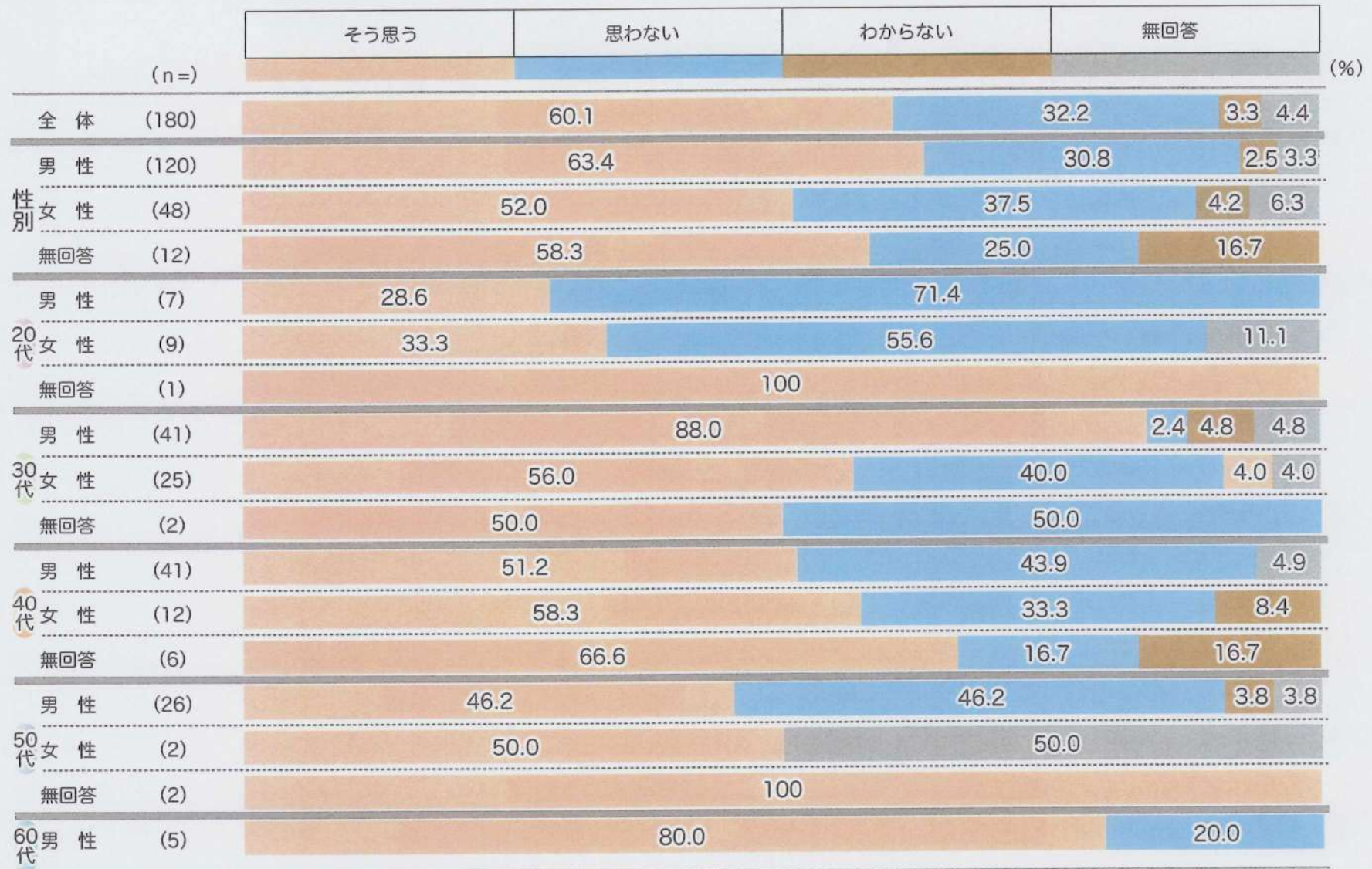
※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 4-2：仕事時間について

(メリハリをつけて働き、業務が終われば周囲に気兼ねなく帰ることができる)

●全体では、「そう思う」が60.1%と最も高く、次いで「思わない」が32.2%、次いで「わからない」が3.3%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が63.4%、『女性』は52.0%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。

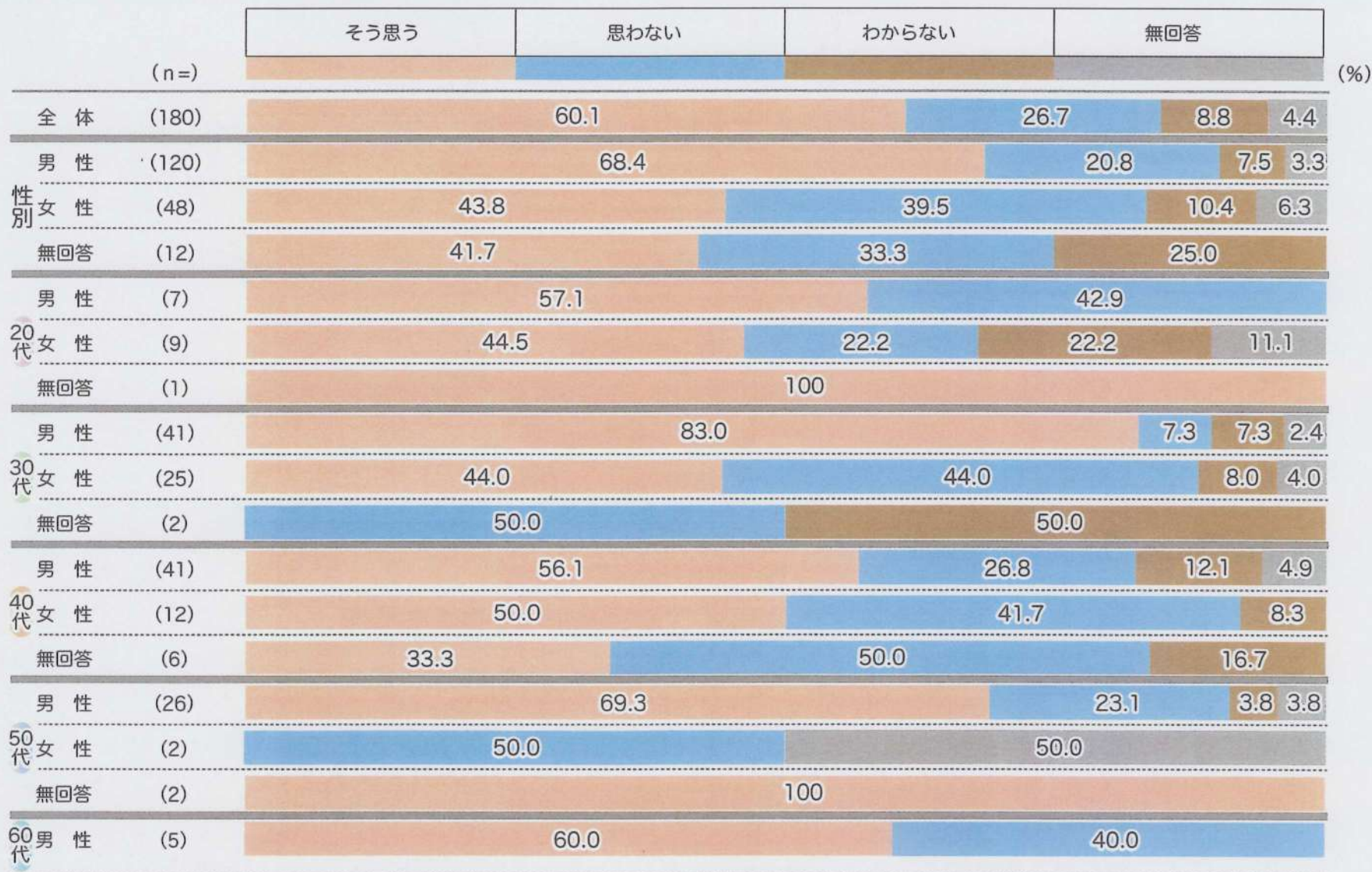


問 4-3：部署での教育・研修について

(部署での教育・研修は体系的に整備され、個人の能力向上を支援してくれる)

●全体では、「そう思う」が60.1%と最も高く、次いで「思わない」が26.7%、次いで「わからない」が8.8%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が68.4%、『女性』は43.8%となった。 ●年代では、「30代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。



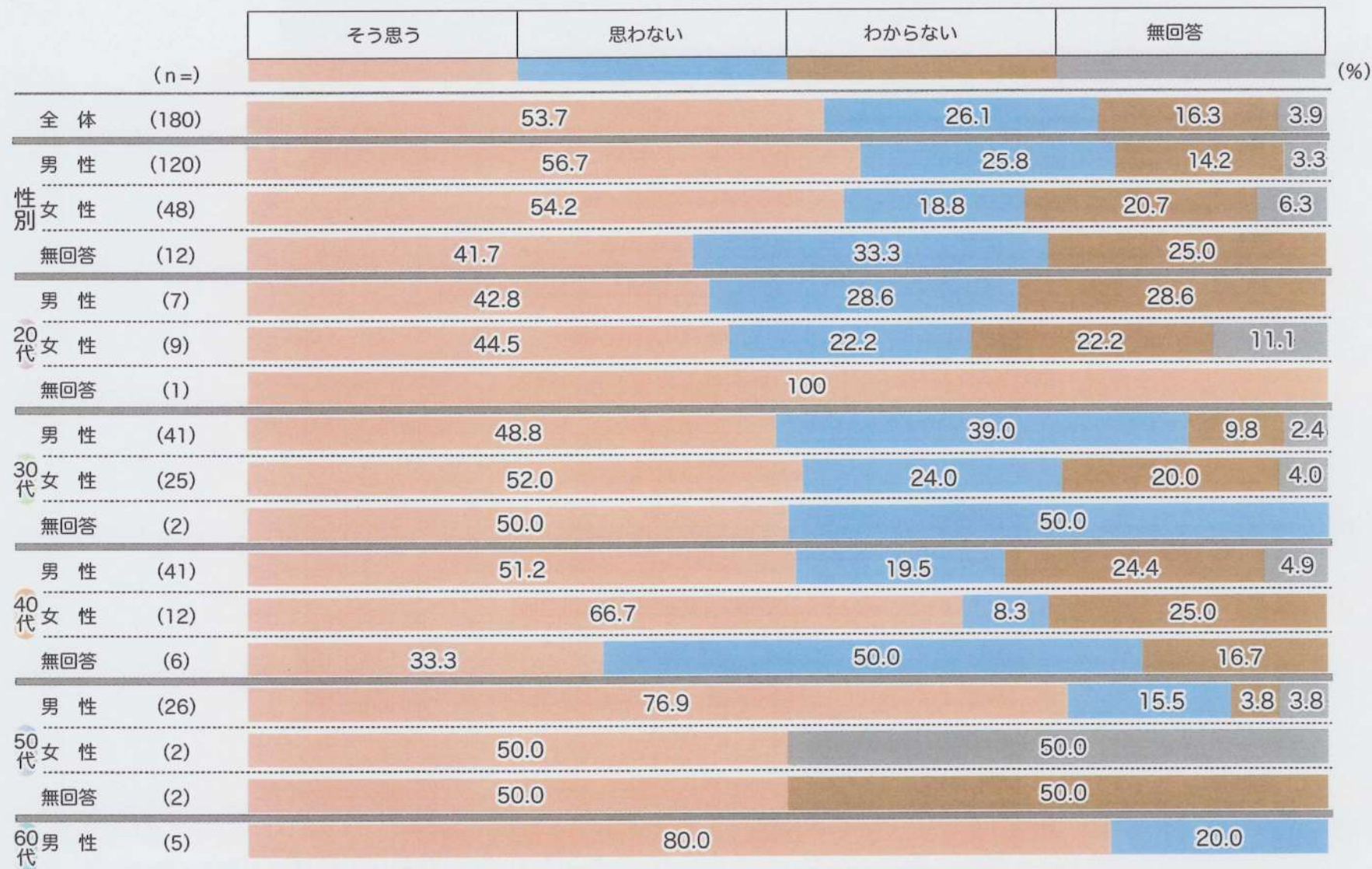
※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 4-4：勤務先での人事管理について

(勤務先は個人の生活面に配慮し、納得性の高い人事管理を心掛けてくれる)

●全体では、「そう思う」が53.7%と最も高く、次いで「思わない」が26.1%、次いで「わからない」が16.3%となった。

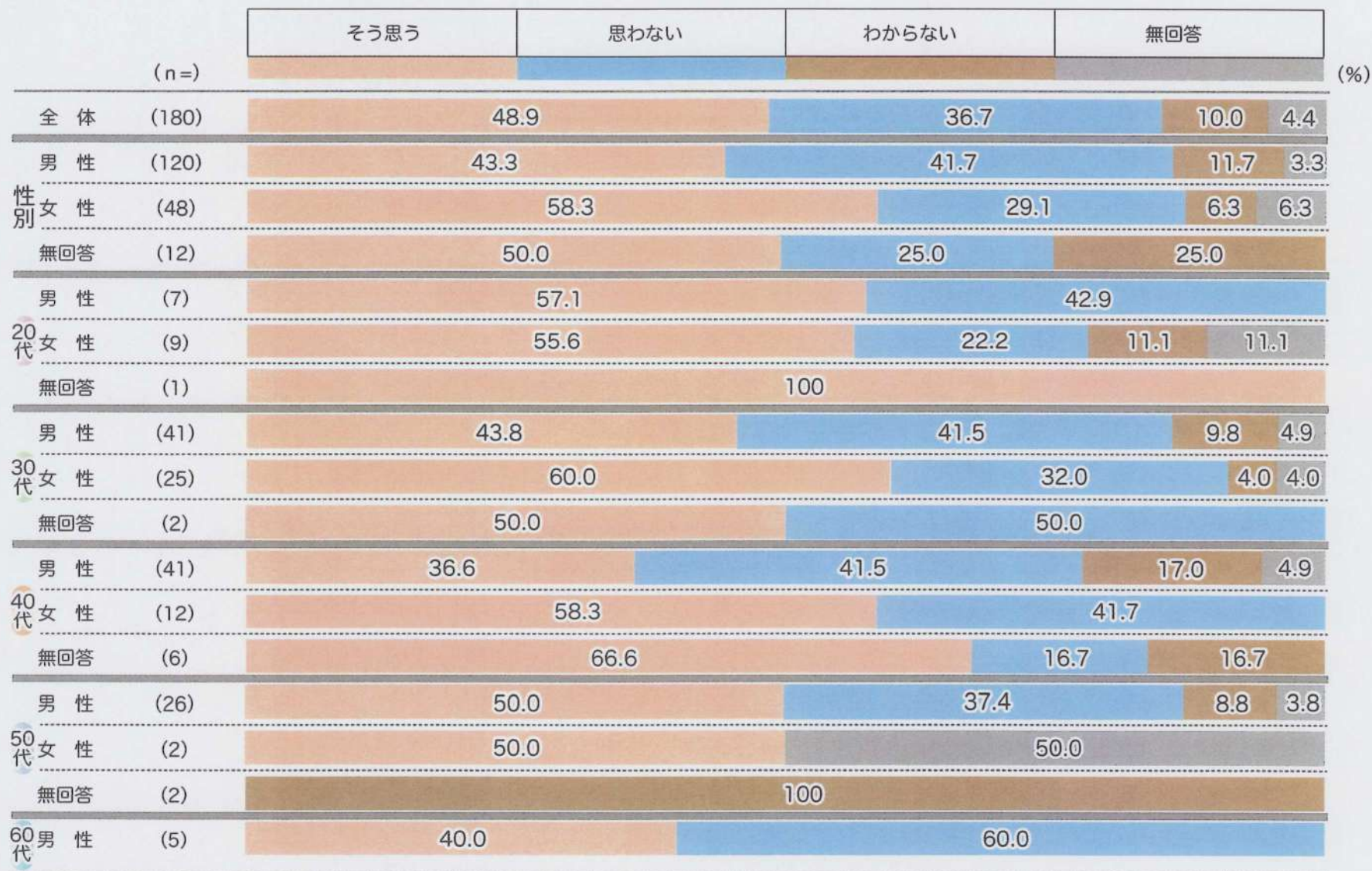
●性別『男性』では、「そう思う」が56.7%、『女性』は54.2%となった。 ●年代では、「50代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。



問 4-5：ワークライフバランスについて (ワークライフバランスを重視している)

●全体では、「そう思う」が48.9%と最も高く、次いで「思わない」が36.7%、次いで「わからない」が10.0%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が43.3%、『女性』は58.3%となった。 ●年代では、「50代」が最多で「40代」がそれに続き多い結果となった。

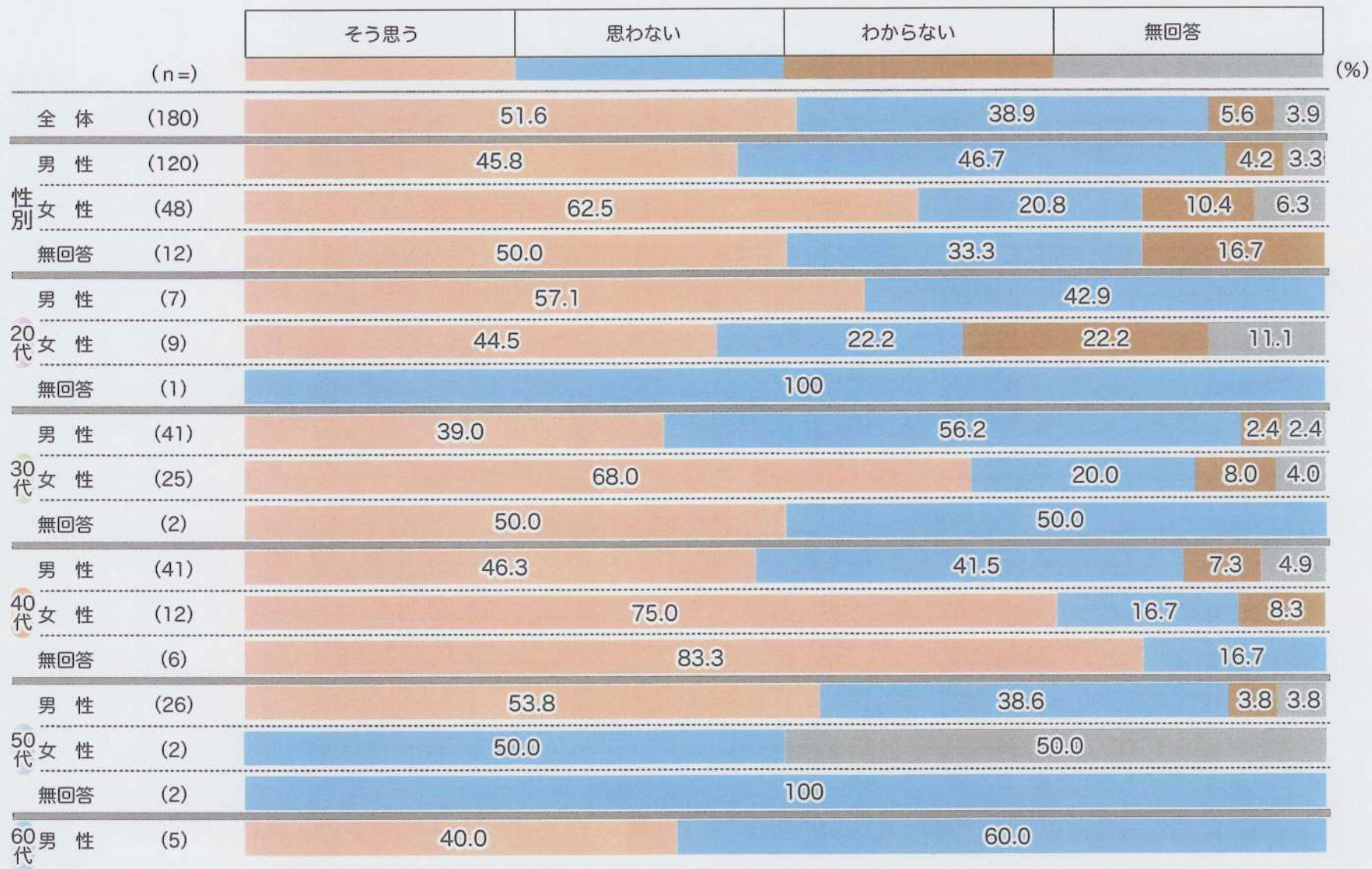


※年代別の性別では、60代女性、60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 4-6：有給休暇の取得について (有給休暇は必要に応じて取得できる)

●全体では、「そう思う」が51.6%と最も高く、次いで「思わない」が38.9%、次いで「わからない」が5.6%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が45.8%、『女性』は62.5%となった。 ●年代では、「40代」が最多で「30代」がそれに続き多い結果となった。

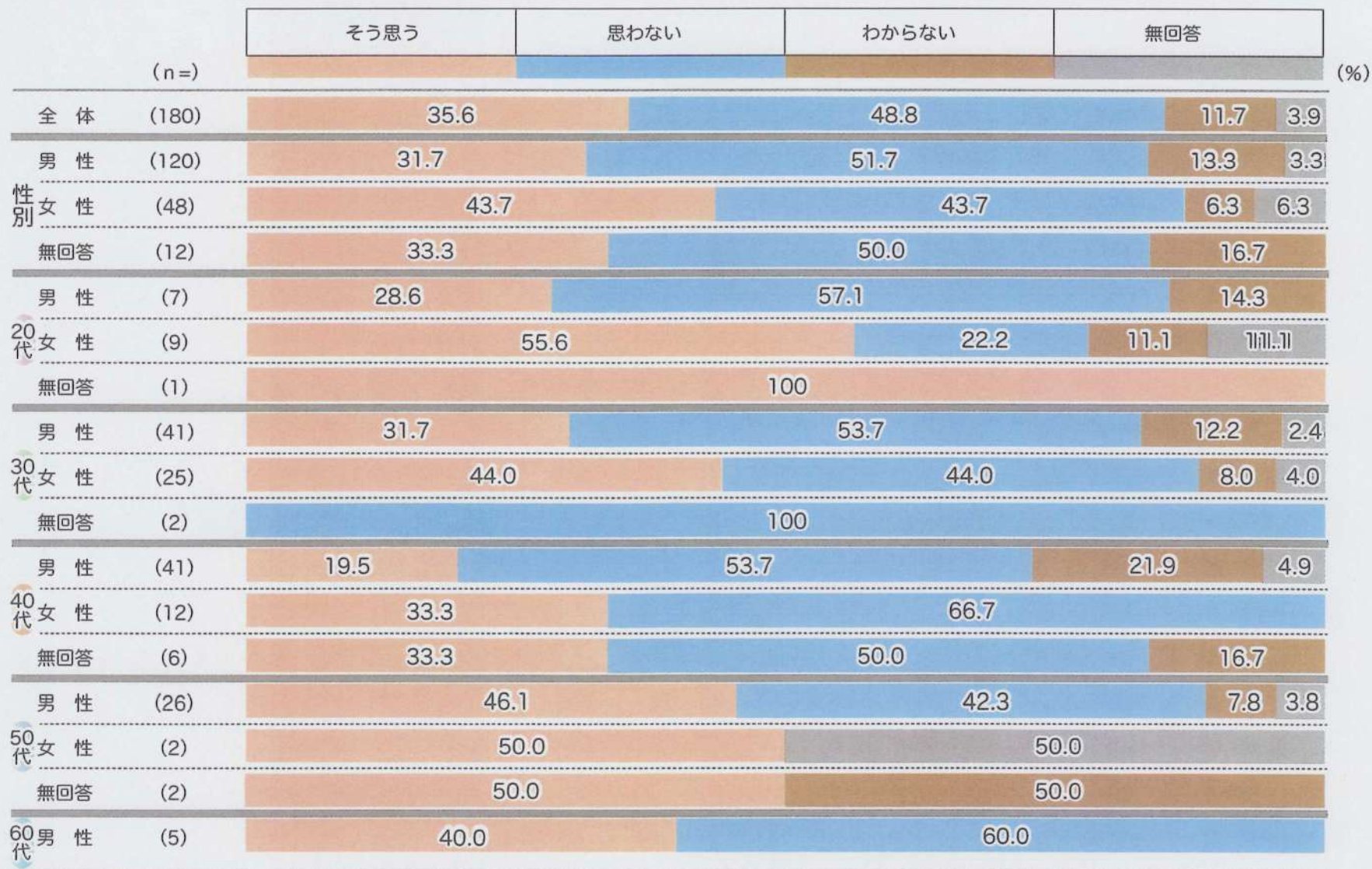


問 4-7：能力の向上のための時間について

(育児・介護及び自分の能力向上のために自由な時間を割くことができる)

●全体では、「思わない」が48.8%と最も高く、次いで「そう思う」が35.6%、次いで「わからない」が11.7%となった。

●性別『男性』では、「思わない」が51.7%、『女性』は43.7%となった。 ●年代では、「40代」が最多で「30代」がそれに続き多い結果となった。



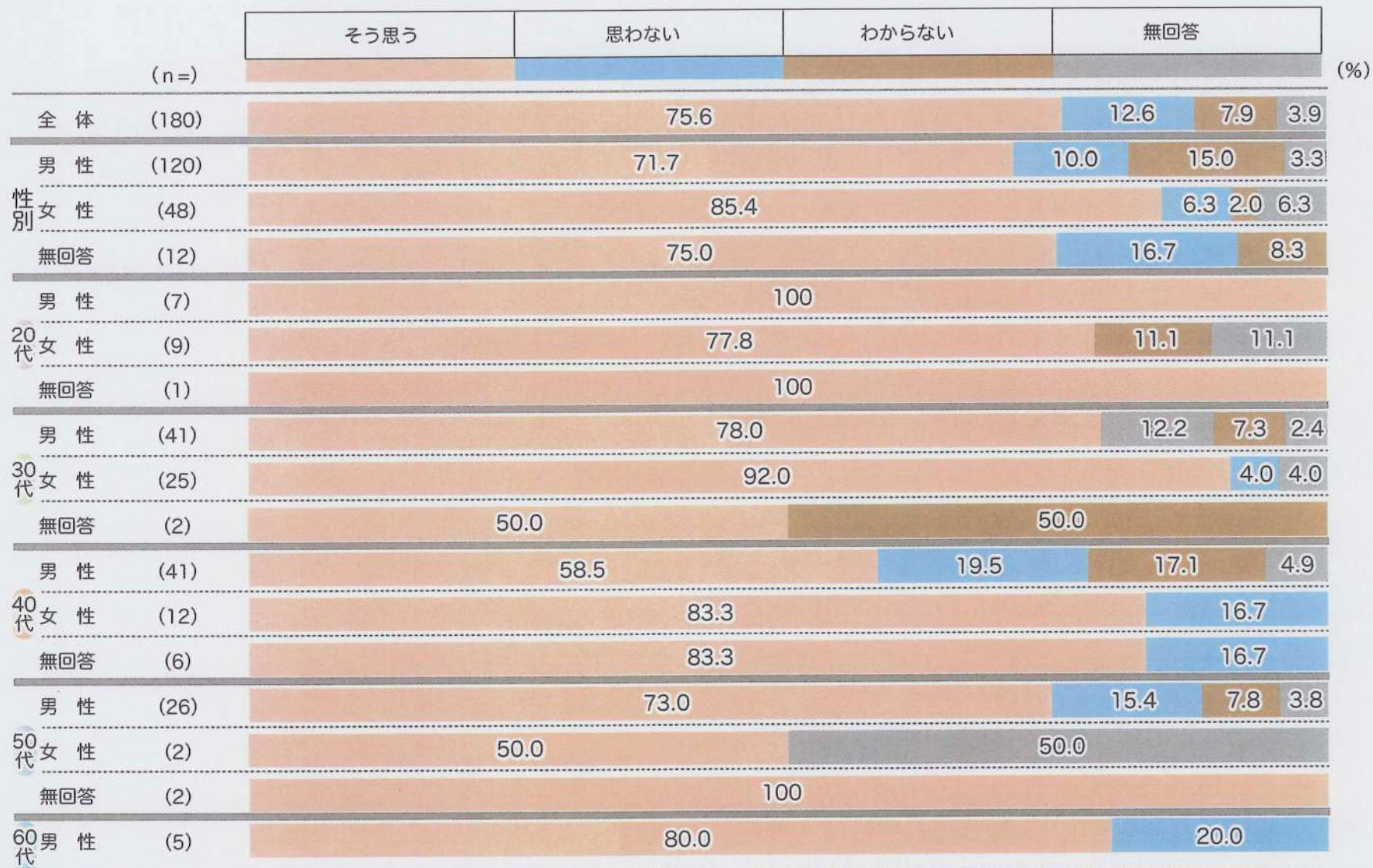
※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

問 4-8：仕事での能力の向上について

(現在の仕事は、自分の能力を活かせる又は能力向上の機会になっている)

●全体では、「そう思う」が75.0%と最も高く、次いで「思わない」が12.6%、次いで「わからない」が7.9%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が71.7%、『女性』は85.4%となった。 ●年代では、「20代」が最多で「30代」がそれに続き多い結果となった。

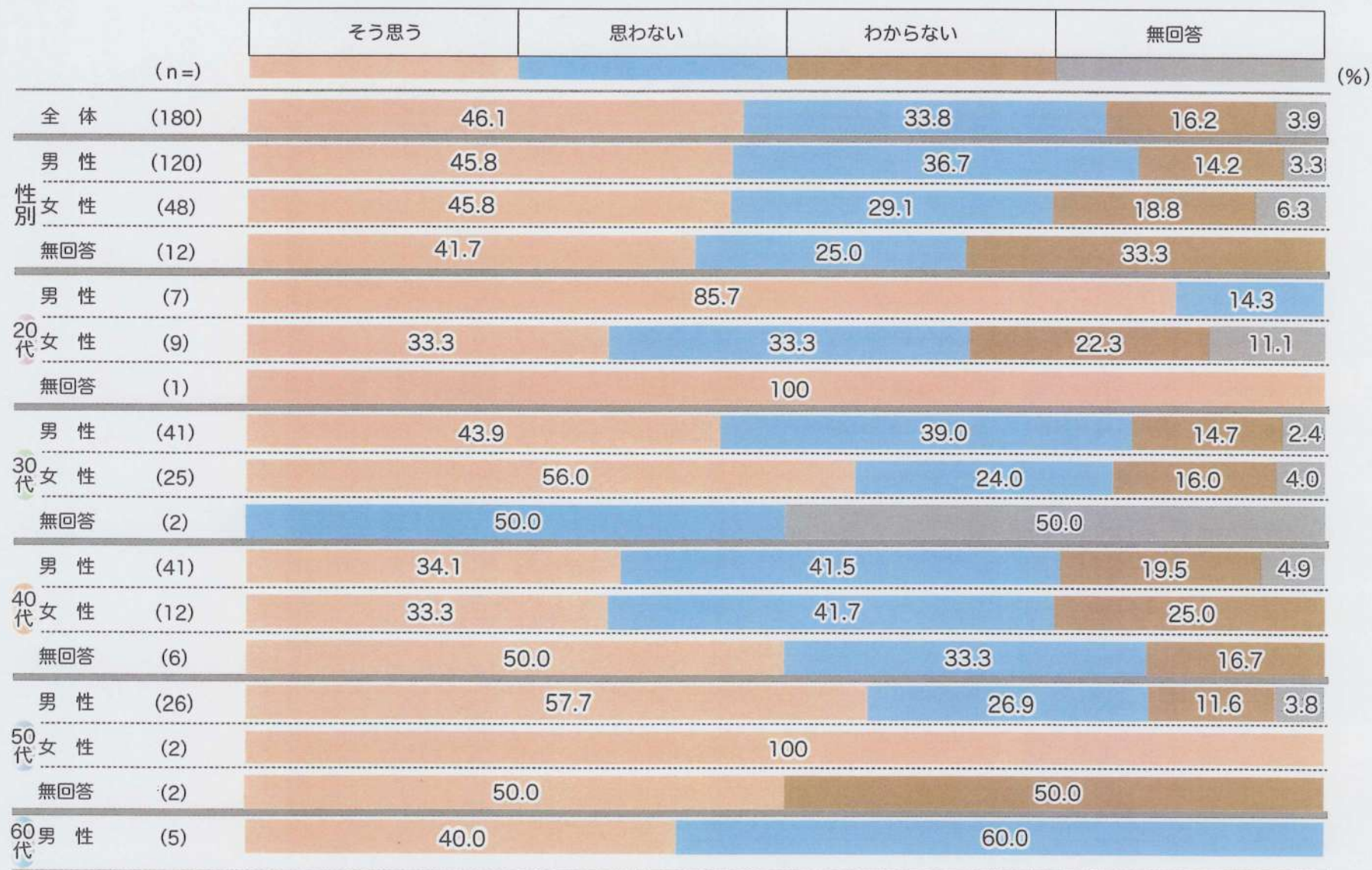


問 4-9：総合的なワークライフバランスについて

(総合的に見て、ワークライフバランスが取れていると思う)

●全体では、「そう思う」が46.1%と最も高く、次いで「思わない」が33.8%、次いで「わからない」が16.2%となった。

●性別『男性』では、「そう思う」が『男性』『女性』ともに45.8%となった。 ●年代では、「20代」が最多で「50代」がそれに続き多い結果となった。



※年代別の性別では、60代女性・60代無回答の各分類については、サンプリング数0人の為、グラフはありません。また、性別、年代無回答の回答者は、全体にのみ反映し、性別、年代別分類からは除外しています。

ご意見

男女に限らず、全体的な人員が増えれば解決する項目もあると思いますが、現実には厳しいと思っています。(特に人が少ないと休日出勤や当直が増えて休みが減ってしまうため。人さえ増えれば日直当直ももっと減ってよいかと思います。	20代	女性
理解のある働きやすい環境と思います。	30代	女性
育児をしながら、今後どのように働きたいのか、働けるのか、自分でもビジョンが見えません。働きやすい環境や、働き方の提案等があるといいと思います。	30代	女性
各医局に割り振られているポストに限りがあるので、育児中の女性医師は、医員以上(助教など)のポストにつけない、もしくはつけたとしても、バックアップが万全で男性医師と同じ働きをする人員にしか与えられないので、モチベーションの一つを奪う結果につながると思います。特に、後輩男性ドクターに飛び級されると、情けなくなります。医局のポスト以外で、例えばキャリア支援センター所属の助教、講師のポストを増やせませんか？(女子医大や、他の大学(獨協だったような覚えがあります。))は、医局のポストを冒さない第三のポストを設けていたはずです。	30代	女性
もっと仕事がしたいですが、サポートがないとできません。	40代	女性
私は女性ですが、臨床、研究、家事(夫の世話)、育児、介護の両立は、能力的に不可能と考え、出産せずに臨床(+少し研究)を最優先することに決め、ずっと常勤を続けてきました。今後の世代は、主治医制⇒チーム制などでon/offメリハリをつけ臨床も家庭生活も両立していける社会になってほしいです。	40代	女性
女性医師の働き方を考えるという考えが良くないと思います。育児中の女性ができない仕事は男性にとっても負担です。(やりたくないのも男性も結局やめていきます)男女や育児中であるなしにかかわらず働ける環境を目指さなければ不公平感や遠慮はなくなるといいます。	30代	男性
女性に対する質問なのか、よくわかりません。	30代	男性
問3-⑥⑦⑧の質問がわかりにくい。主語は男女どちらになるかわからないのに、なんとなく女性医師が主語のような文章と感じた。	30代	男性
女医は一割いればよい。多くなれば、今後も常勤医師の負担でしかない。	30代	男性
女性医療キャリア支援センターの「女性」は必要ないのでは？男性のセンターも立ち上げませんか？との意見は少数でしょうか？男女共同という意識が欠如しているように思われます。	40代	男性
質問事項に抽象的な言葉が多く、質問の内容が答えの選択肢に合っていないものが一部あると思う。	40代	男性
ワークライフバランスの定義があいまいなので、議論しにくいと思います。	40代	男性
女性(育児中)の当直を強いることができない。男性や育児をしていない女性の当直医としてのdutyを今後どうするのか検討すべきだと思う。	40代	男性
女性医師が継続的に働く為には当然配偶者も育児・家事を分担すべきであり、男女平等に家庭生活を送ることを男女共に認識すべきです。	60代	男性

平成31年2月吉日

大分大学医学部 各位

女性医療人キャリア支援センター
センター長 藤木 稔
副センター長 松浦恵子

「女性医師の働き方と医師のワークライフバランスに関する調査研究」へのご協力をお願い

拝啓 ○○の候、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、女性医療人キャリア支援センターでは、女性医師の働き方と復職支援・キャリアアップ支援の準備のため、医療人のワークライフバランスの現状と意識調査を行うことにしました。

つきましては、別紙のアンケートについて下記の要領でお答えくださいますようお願い申し上げます。

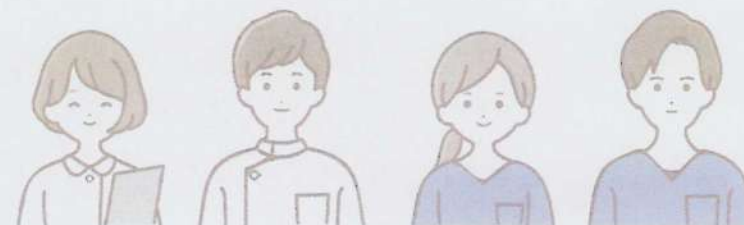
敬具

記

1. 回答は別紙のアンケートに直接ご記入ください。
(両面にアンケートがあります)
2. 回答は、部署ごとにまとめて、3月7日(木)までに、総務課前の女性医療人キャリア支援センターのレターボックスにご返送ください。
3. 調査は無記名式です。また得られた情報も、調査目的以外に使用いたしません。
4. 調査に関する質問等は、下記連絡先までお問い合わせください。
5. 調査結果につきましては、女性医療人キャリア支援センター活動報告・ホームページに掲載する予定です。
6. 調査への回答はあなたの自由です。また、回答されなくても、職員評価や待遇等で不利益な取り扱いを受けることはありません。
7. 大分大学医学部倫理委員会承認済(承認番号:1568)

【お問い合わせ・相談先】

女性医療人キャリア支援センター
電話(内線): 5715
Email: carsupport@oitau.ac.jp
窓口担当 宮崎 直美



参考資料（アンケート用紙）

女性医師の働き方と医師のワークライフバランスに関するアンケート

調査は匿名です。また、得られた情報も、調査目的以外に使用することはありません。

本研究へ参加することについて

同意する 同意しない（同意するにチェックをつけられた方のご回答ください）

問1 回答者ご自身についてお聞きします。

- ① 年代 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代
- ② 性別 1. 男性 2. 女性
- ③ あなたの専門とする診療科は、どれに該当しますか。
 1. 内科 2. 外科 3. 脳神経外科 4. 整形外科 5. 産婦人科
 6. 小児科 7. 皮膚科 8. 耳鼻咽喉科 9. 眼科 10. 形成外科
 11. 泌尿器科 12. 放射線科 13. 麻酔科 14. 精神科・心療科
 15. その他（ ）
- ④ 医師免許を取得して何年目ですか。（ ）年目

問2 働き方についてお伺いします。

- ① 現在、お仕事をされていますか？
 1. はい 2. いいえ
- ② ①で「はい」と答えられた方にお聞きします。常勤で働かれていますか？
 1. はい 2. いいえ
- ③ ②で「いいえ」と答えられた方にお伺いします。現在の勤務状況は、どれに該当しますか。
 1. 短時間勤務 2. 育児休暇中 3. その他（ ）
- ④ ③の状況になっている理由はどれに該当しますか。
 1. 育児をせざるを得ない状況だから 2. 育児に専念をしたいから
 3. 介護をせざるを得ない状況だから 4. 介護に専念したいから
 5. その他（ ）
- ⑤ ①で「いいえ」と答えられた方にお聞きします。医師として復職したいと思いませんか？また、復職したいと答えた方は、どれくらいで復職されたいとお考えですか。
 1. はい（ ）か月後、未定） 2. いいえ
- ⑥ ⑤で「いいえ」と答えられた方にお聞きします。差し支えなければ、復職できない理由やこのような支援があれば復職できるということがあればご記入ください。

問3 全ての方にお伺いします。次の事柄について1~5のどれにあてはまるかお答えください。

1 非常にそう思う 2 そう思う 3 思わない 4 全くそう思わない 5 わからない

- ① 女性医師の数を減らすという方策は間違っていると思う ()
- ② 女性医師は育児・介護で離職する傾向にあると思う ()
- ③ 男性医師も育児・介護を積極的にすべきだと思う ()
- ④ ライフイベントと並行した医業の継続が強いられる ()
- ⑤ 固定的性別役割分担意識を女性医師自らが強く持たざるを得ない状況である ()
- ⑥ 将来の姿を計画的に見通すことは難しい ()
- ⑦ モチベーションの維持は時として難しく離職・非常勤職となりやすい ()
- ⑧ 診療以外の院内外の各種会議への参画が少なく代表者として発言する機会が少ない ()

問4 全ての方にお伺いします。次の事柄について1~5のどれにあてはまるかお答えください。

1 非常にそう思う 2 そう思う 3 思わない 4 全くそう思わない 5 わからない

- ① 仕事の手順・量はある程度自分で決めることができる ()
- ② メリハリをつけて働き、業務が終われば周囲に気兼ねなく帰ることができる ()
- ③ 部署での教育・研修は体系的に整備され、個人の能力向上を支援してくれる ()
- ④ 勤務先は個人の生活面に配慮し、納得性の高い人事管理を心掛けてくれる ()
- ⑤ ワークライフバランスを重視している ()
- ⑥ 有給休暇は必要に応じて取得できる ()
- ⑦ 育児・介護及び自分の能力向上のために自由時間を割くことができる ()
- ⑧ 現在の仕事は、自分の能力を活かせる又は能力向上の機会になっている ()
- ⑨ 総合的に見てワークライフバランスが取れていると思う ()
- ⑩

ご意見があればお書きください

[]

ご協力ありがとうございました。

裏面に続きます。



女性医師の働き方・医師のワークライフバランスに関する アンケート調査報告書

令和2年3月発行

発行／国立大学法人 大分大学
医学部附属病院 女性医療人キャリア支援センター
〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
Tel:097-586-5715
Mail: carsupport@oita-u.ac.jp
URL: <https://www.oita-carsupport.jp/>

(お問い合わせフォームあります)

(無断転写・複製を禁じます)